



広島女学院報



創立一三〇周年を迎えて建学の精神を土台に 「職業キャリア」から「ライフキャリア」へ

院長・学長 湊 晶子

今から一三〇年前の一八八六年(明治一九)頃の日本は、明治維新で近代化が進んで来たとは言え、封建的色彩は強く女性の政治的権利も認められない時代でした。そのような中でキリスト教に立脚した女子教育機関が次々に創立されました。創立の経緯から三つに分類できます。宣教師(キターなど)によって創立された学校、日本人独身女性(津田梅子など)によって創立された学校、日本人男性によって創立されすぐに女性指導者にバトンタッチされた学校です。広島女学院は宣教師ランバス父子の支援のもと、砂本貞吉牧師により創立され、N・B・ゲーンズ初代校長にバトンタッチされた第三のグループに属する学校と言えます。(下記地図は当時の校地の移転を示す。)

日本の近代化を支えたキリスト教女子教育の理念は、現代の女子教育への貴重なメッセージでもあります。女性に政治的社会的権利が与えられていなかった明治の時代に、「男性と女性の神の前の平等性」が説かれ、広島女学院では「我らは神と共に働く者なり」(クム デオ ラボラムス)をモットーにキリスト教に基づいた人格教育がなされました。砂本貞吉と同時代を生きた新渡戸稲造は、「日本では人格といふ言葉は極めて新しい。私共が書生の時分には、人格という言葉はなかった。パーソンという字は詳細に調べると、メンという意味とは違って「人たる」という字である。格といつても資格というような意味は毛頭ない。人格神との関係性の中に人格は形成される。』西洋の事情と思想」と述べている通りです。

現代では、リベラル・アーツ教育・教養教育という言葉はごく一般的に用いられますが、教養とは「社会、国家、世界の中で自己確立して生きる『人格、私、ぶれない個』を育てる教育」です。ここにキリスト教教育を一三〇年間堅持してきた広島女学院の存在意義があります。神の前には男性も女性も同等の人格として創造されているのですから、「ぶれない個・自己」と「良い意味の自信」をもって、自由な発想と柔軟な批判的思考力を養いつつ、どのような事態においても責任をもって受容し決断し得る女性に成長してほしいと願います。これこそが現代を生かす教養人です。

二〇一六年には女性活躍推進法もでき、性差に関わらず働ける環境が以前よりもはるかに整って来ました。男女雇用機会均等法(一九八五年)もない時代から働いてきた私の年齢層の人々にとっては、何事においても「最初」という事態を突進してきたように思います。「人の目を気にしない。問題から逃げない。孤独とストレスに克つ強さをもつ。継続は成功の鍵。耐えることも大事」です。これからの女性のために是非先鞭をつけてほしいと思います。

広島女学院では、創立一三〇周年を機に、「キャリア概念」を「職業キャリア」から「ライフキャリア」に明確に転換し、「女性の一生涯」を社会にそして世界に貢献できる女性を育てるように教育内容を充実させます。「我らは神と共に働く者なり」の建学の精神に沿って、各々の「ライフキャリア」を生き抜く精神を学院全体として共有できるように努力して参りたいと思います。



校母 N.B. ゲーンズ



創業者 砂本 貞吉



『目でみる広島女学院の100年』より

創立130周年記念特集

— 創立130周年記念 — 講演会・オルガンコンサートを 振り返って

廣島女学院中学高等学校 校長
星野晴夫



9月24日(土)、中高のゲーン
スホールを会場に、記念講演会・
オルガンコンサートが行われ、
それまでの雨天続きの中、この
日は晴天に恵まれて各方面から
多数の参加者を迎えました。

開会にあたり、中川日出男理
事長より、廣島女学院はキリスト教による女子教育を
連綿として続けてきた伝統に立ちつつ、新たな時代に
向けての女子教育を打ち立てていくとの挨拶がありま
した。講演は湊晶子院長により、「女子教育が世界を変
える」と題して行われました。日本において、女子教育
への道を拓いた人々とその思想、また砂本貞吉に始ま
る本学院の130年の歴史が紹介されました。キリス
ト教主義教育においてこそ、神と人・人と人という、縦
軸・横軸の噛み合ったふれることのない人格が培われる
こと。また、今後のキリスト教女子教育を、「世界平和
への貢献」、「発展途上の国や人々への関心と関与」、更
にキャリアに於いて、これを単に就職の問題としてで
なく、生涯に渡って役割が大きく変化する女性の「ライ
フキャリアの確立」、という3つの観点において捉え、
ご自身の家庭人、社会人としての経験も交えつつ明快
に話されました。

続くコンサートは、現在オルガニストとして教会や
コンサートホールでの演奏に活躍し、CDのリリース
もしておられる内海恵子さんと、そのお嬢様で現在学
生としてパイプオルガンを学んでおられる彩花さん
によるものでした。パツハから近代フランスのヴィエ
ルの作品まで、数々のオルガン作品が独奏と連弾とに
よって演奏されましたが、普段は目につかない、足鍵
盤を巧みに弾きこなす足の様子がスクリーンに映し出
される演出も加わって、会場はオルガンの美しく多彩
な響きに包まれました。

内海恵子さんは湊院長の御長女に当たられますが、
いずれもキリスト教主義教育の中で若い日々を過ごし
てこられた女性達が、3世代の其々の人生の輝きを
示してくださった姿は、今日の講演の主題を象徴的に表
しているようで、感銘深いものとなりました。



プログラム

司会：校長 星野 晴夫

理事 長 中川 日出男

I. 開会挨拶

II. 講演 「女子教育が世界を変える」
院長・学長 湊 晶子

— 休憩 (15分) —

III. オルガンコンサート 桜美林大学オルガニスト・大学兼任講師
内海 恵子 (講演者の長女)
東京藝術大学器楽科オルガン専攻3年
内海 彩花 (講演者の孫)

Program

J.S.バッハ カンタータ第147番より 主よ、人の望みの喜びよ ☆
(H. グレーン編曲) from Cantata No.147
— Ave, Joy of Man's Desiring

トッカータとフーガ ニ長調 BWV 565 ☆
— Toccatto on Fuga in D BWV 565

管弦楽組曲第3番 ニ長調より アリア ☆
(G. フォーテ編曲) — Air from SUITE No. 3 in D Major

前奏曲とフーガ ニ長調 BWV 532 ☆
— Prelude and Fuga in D BWV 532

C. サン＝サーンス 動物の戯肉祭り 「白鳥」 ☆
(C. サン＝サーンス編曲) — THE SWAN from The Carnival of the Animals

L. ヴィエール シンフォニー第1番 作品14より 「フィナーレ」 ☆
(L. ヴィエール編曲) — Finale from Symphony No. 1 Op. 14

G. メルクセル ソナタ op. 30 ニ短調より 第1楽章 ☆
(G. メルクセル編曲) — Sonate op. 30 No. 1

☆…内海 恵子 ♯…内海 彩花

Profile

内海 恵子
Keiko UTSUMI



東京藝術
大学器楽科
オルガン専
攻卒業、同大
学院修士課
程修了。ドイ

ツ政府給費奨学金(DAAD)を得
てケルン音楽大学卒業。在独中は
ケルン・ヴオーリンゲン教会正オ
ルガニストを務め、帰国後はサン
トリールホール、東京藝術劇場、国
際基督教大学、東京女子大学、青
山学院大学などで演奏会を行って
いる。現在、日本ホーリネス教団
池の上キリスト教会主任オルガニ
スト・同音楽主宰、桜美林大学オ
ルガニスト・同大学兼任講師、玉
川聖学院主任オルガニスト。日本
オルガニスト協会会員、日本オル
ガン研究会会員、公益社団法人日
本演奏連盟会員。ソロCD「天か
らの風にして」、 「光につつまれ
て」などをリリース。

内海 恵子オフィシャルサイト
organist-keiko.com

内海 彩花

Ayaka UTSUMI



東京藝術
大学器楽科
オルガン専
攻3年在学
中。青山学院
初等部、中等

部、高等部卒業。高等部1年から
オルガンを始める。廣江理枝、椎
名雄一郎、浅井美紀、内海恵子の
各氏に師事。第1回「長崎で教会
音楽を」オルガンオーディション
にて2位、優秀賞受賞。



湊 晶子 院長 講演



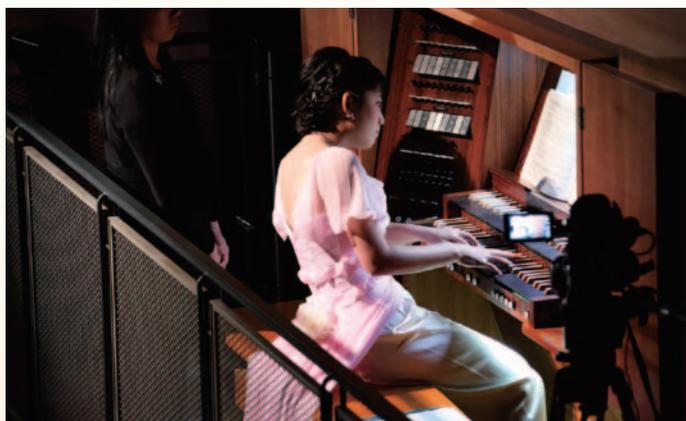
中川 日出男 理事長 挨拶



内海 恵子 氏 ポッシュ社オルガン解説



二階に設置されたオルガンと演奏を投影した正面スクリーン



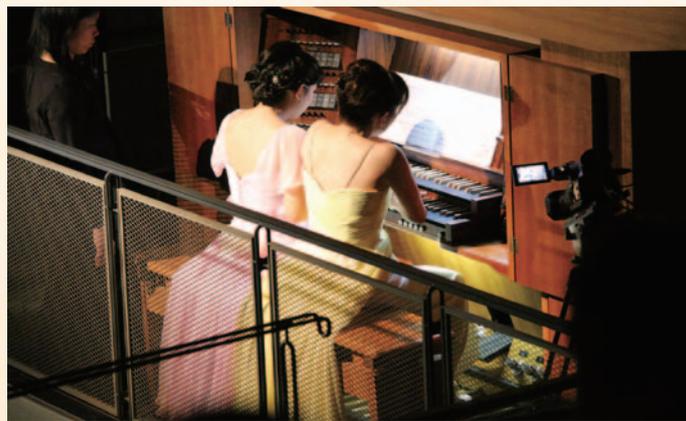
内海 彩花 氏 演奏



内海 彩花 氏 オルガンを専攻して



花束贈呈



親子二代による連弾

大学

2016年度春季宗教強調週間 2016年5月16日(月)～20日(金)

今期宗教強調週間では、国際協力について、広く深く学ぶ機会を与えられた。5月16日(月)特別チャペルでは広島YMCA主催のフイリピン・ワークキャンプ参加学生から現地での経験や所感など、生き生きとした報告を受けた。翌17日(火)「キリスト教の時間」では2月に実施したカンボジア・スタディツアー参加学生から、得難い経験の数々や、これからに向けての思いなどが語られた。本学とワールド・ビジョン・ジャパン(以下WVJ)との初の共同企画であるこのプログラムを発案

され、心をこめて実現に至らしめて下さった湊晶子院長・学長先生からは、一人ひとりの発表を踏まえ、励ましの満ちたコメントをいただいた。また、ツアーに引率同行して下さったWVJスタッフ・堂道有香さんからも、全学生に向けて、国際協力の現場からのメッセージが語られた。続く18日(水)にはさらに、WVJ事務局長の片山信彦さんにより、「愛されて、共に生きる」と題して特別講演を賜った。講演の中で、「自分が難民キャンプに暮らすひとであることを想像し、あと



講師の片山信彦さん

1分でも頭上から爆撃が始まるといったときに、身の回りの何を持ち出すか」というワークは、聴講した学生たちに衝撃を与え、難民たちが置かれた厳しい状況に目を開かせる機会となった。また、ルワンダの虐殺を生き延びた少女が、心に受けた傷のため、目を固く閉じ、頑なに接触を拒んでいったのが、心をこめて話しかけ続けた片山さんとの別れ、「心を開いて、「ありがとう」と語ったというエピソードから、「心と心が繋がる」国際協力のあり方について、

学生たちは知識の部分でも、また理屈を超えた部分でも、深く納得した様子であった。学生たちからは誰かを支えようと思う愛と、愛されたことと得られる喜びは全世界共通なのだなと思いましたが、「違いがあることは自然なことであり、豊かなことであると学んだ」など多くのコメントが寄せられた。19日(木)には締めくくりとして、湊院長・学長先生から情熱に満ちた、魂への語りかけをいただき、それぞれの学びへ、働きへ向けて、背中を押していただいた。余談となるが、そろそろ「宗教強調週間」という呼称についても、より時代に即した名称に変更する時期に来ているように思う。今後、宗教委員などでも検討を進めたい。(チャプレン 澤村 雅史)

第50回原爆講座

8・6の意味するもの

7月5日(火)の「キリスト教の時間」では、戦時下の広島にて女学生車掌を務めた笹口里子さんにお話を伺った。軍都でもあった広島は軍需関連の工場・会社が多く、電車を定期的に通す必要から、戦地に行く男性に替わり、女学生がその役割を担った。笹口さんは1945年春、広島電鉄家政女学校に入校、一週間程度の乗務見習い後、車掌として乗務された。当時を振り返って、お腹が空き、頭や羽も見えるイナゴの佃煮を食べた同僚のこと、苦くて食べれないよもぎや線路脇の鉄道草、海藻で作った団子のこと、しばしば鳴る空襲警報に恐怖を感じたこ

となど厳しい食料事情も含め、戦時下の思い出を語ってくれた。原爆投下の日は寄宿舎で被爆。青い炎を見た瞬間、柱の下敷きになりその後脱出。宇品の神社を經由し鈴ヶ峰の実践女学校へ避難された。途中、列をなす怪我人、馬や兵隊さんの死体が山積みされた光景に遭遇、実践女学校で病人、怪我人の世話に当たられた。次々亡くなる人々のことや、積み重ねられた死体の中に家政女学校の生徒を発見

したことに、原爆投下の3日後、8月9日には再び電車が走ったことなど悲惨な体験談を含め当時のことを詳しくお話しくださった。7月12日(火)は、同窓生・野村久子さんより「被爆証言」をお聞きした。土橋付近で電車の中、被爆。青い光・轟音の後見たのは体から皮膚がぶら下がり、兵隊さんに助けを求めらる生徒達の姿。衣服も焼け周囲は生き地獄の様相であった。己妻方面に川を渡って逃げる際、家の下敷きになった母や祖母を残し赤ちゃんを背負い五日市に向かう小学生の女の子に出会い、ご自身も途中黒い雨に打たれ雨宿りしながら山越え、家に辿り着き姉と母を迎えられたとのこと。その後、平塚町の家に一緒

に出向かれた際に、紙屋町で茶色多数の人や馬に遭遇する壮絶な体験をされる。吐き気や脱毛にさいなまれたご経験も話された。最後は、「核戦争には勝るはない。核兵器をそのままにしては人類に未来はない。」「ご自身の体験を振り返り強い口調でお話を結ばれた。いづれも、壮絶な被爆体験を含めたお話であり、学生教職員一同心から平和を願う思いを新たにす貴重な時間となった。(宗教センター事務課長 坂野 康文)

今年度の夏のオープンキャンパスは、①6/19・②7/10・③7/23・④8/28の計4回行い、各回のクローズアップテーマを①「教育・学び」②「入試制度」③「実績・就職・資格」④「学生生活」と設定して特色を出した。今年度は「全国高等学校総合文化祭」の影響で回数が1回減ることとなったが、その分、各回において工夫と努力が見受けられた。管理栄養学科では、防災の日を前に「災害支援」に特化した授業内容の紹介と、炊き出し(ビニール袋でご飯を炊く等)の実演・試食をおこない好評だった。保護者の皆様には、湊学長による教育方針の講演やキャリア支援課長による就職支援体制の説明があり、

2016年度夏オープンキャンパス

学生一人ひとりを(卒業後も)大切に思う本学の方針が伝わったと思う。学生スタッフも校内随所で、丁寧に高校生の相談ののってくれていた。学生、教職員と協力し合い、成果を感じて無事終了できたことは何より感謝である。ご協力いただいた多くの学生のみならず、ありがとうございました。(入試課長 川口 早香美)



各プログラムへの案内学生(一部)

2016年度オープンセミナー

受験生および高校生を対象として毎年8月1～3日に行われているオープンセミナー(9日(火)に行われ、計109名(内高II・3名)の参加があった。高校3年生で受講成績が良ければ本学に出席できるシステムで、学科や授業、先生の様子や個人の適性が入学前にわかることから、ミスマッチを防げるというメリットもある。今年度は「全国高等学校総合文化祭」が広島で行われたため、日程変更を余儀なくされたが、概ね滞りなく終了できた。先生方の熱心な指導のも



全体説明会の様子

と、生徒の皆さんは真剣に受講し、終了の日は全員達成感に溢れ清々しい表情をしていたのが印象的であった。(入試課長 川口 早香美)

熊本地震の被災地に心を寄せて

2016年4月14日以降、大きな地震が熊本地方一帯を襲いました。連日報道される熊本の様子を知り、被災地の子どもや子を持つ家庭のために、日ごろの学びで熊本を元気づけたいと、幼児教育心理学科の学生が災害支援サークルを結成しました。

対象年齢の発達段階や安

全性・強度に配慮しながら、試行錯誤を重ねたおもちゃは1か月弱で合計21個完成し、5月29日にはサークルの代表者2名と共に益城総合体育館を訪れ、熊本県保育士会におもちゃを呈呈しました。

おもちゃを手にした時の保育者の方々の反応に勇気づけられたこともあり、おもちゃ作りはその後も継続



さ、7月27日には、地震の影響でプール遊びができないうちが川遊びで使用できるようなおもちゃをメインに、2回目のおもちゃを熊本に届けました。

(幼児教育心理学科准教授 田中沙織)

「生活デザイン・建築学科 学生作品展」

「地域とつながるデザインでつながる」



5月9日～6月1日、三井住友信託銀行広島支店・広島中央支店(紙屋町交差点南東角)2階ロビーにて「地域に開く」と

いう趣旨で開催されました。

展示作品は「牛田商店街街路灯デザイン」、地域企業とのコラボ「介護ユニフォーム」をはじめ、広島8大学卒業設計展優秀賞・審査員特別賞受賞作品、「富山デザインフェア」パッケージデザインコンペ」入賞作品や「デザインリレー」大賞作品も披露。また、あやめ祭ファッションショーの衣装は、空間を華やかにしてくれました。

多くの感想アンケートをありがとうございました。今後の励みにしていきます。

(生活デザイン・建築学科教授 細田みきわ)

「第30回管理栄養士国家試験 合格率97.1% 広島県私立大学1位！」

管理栄養学科70名が国家試験の受験に挑み、68名が合格しました。広島県私立大学1位です。全国の合格状況は全体合格率が44.7%、新卒管理栄養士養成課程が85.1%であり、昨年

より合格率が低下し、問題は難しかったようです。来年は全学生と笑顔でお別れができるようにしたいと決意しています。

(管理栄養士養成課程主任 石長孝二郎)

2016年度春季講演会報告

— 管理栄養学科 —

演題 「被災地支援のあり方を考える」

講師 山崎 水紀夫氏
(NPO 高知市民会議 理事)

日時 2016年6月29日(水)15:15～

場所 人文303教室

2016年度 ゲインズ学術 奨励賞受賞者

- 【国際教養学部】 山崎 桃
- 【国際教養学部】 山崎 桃
- 【人間生活学部】 山崎 春菜
- 生活デザイン・建築学科 山崎 春菜
- 管理栄養学科 荒川 佳央梨
- 幼児教育心理学科 長岡 沙耶香

BGSUピースセミナー

姉妹校ボーリングケグリー州立大学(米国オハイオ州)の学生・教員を迎え隔年で行われる「ピースセミナー」(本学講義名「Hiroshima Studies」篠原收教授担当)が、今年も8月1日～8日で開催されました。



5名の学生そして学部長を含む2名の教員は、平和学分野の専門家の講義、被災証言、平和記念資料館見学、原爆死没者慰霊式、広島



注目を集めた被災地広島ですが、参加者は平和問題だけでなく、多くの人々との触れ合いを体験したようでした。

(学生課長(国際交流センター) 宇根治)

国語の力を高めよう

国際教養学科で開催されている勉強会のうち、今回は、国語系メジャー教員の勉強会を紹介する。

まず、日本人としての日本語能力をブラッシュアップするた

め、国語検定試験対策。春秋とも週一回60分、6回。内容は、佐藤先生の「日本語の2級、3級、検定3級、2級の過去問解説」、植西先生の「単

語の意味関係・慣用語」、渡邊先生の「文法」、柚木先生の「漢字の使い分け・送り仮名・仮名遣い・四字熟語」、足立先生の「敬語」など。

また就職を希望する学生のために、佐藤先生の「古典文法講座」、柚木先生の「漢文の訓読法」の勉強会。

2015年度の実績は以下の通り。

- * 中学国語・広島県2名採用
- * 大阪府1名採用
- * 情報 広島県1名採用。

今年度については中学国語に広島県・山口県に各一名、一次合格。

少しでも多く学んで結果を取ってください。

(国際教養学科教授 宮本陽子)

2016年度(第34回)
広島女学院大学
公開セミナー

総合テーマ
「人間生活と文化」

幼児教育心理学科 設立10周年記念 特別講演

10月8日(土)
14時～15時30分

「ゴリラから見た
人間の子ども不思議」

京都大学総長 山極 壽一氏

第1回

10月15日(土)
14時～16時

「栗原貞子作品を読む
—栗原貞子記念平和文庫—
収蔵資料から—」

幼児教育心理学科准教授 神野 正喜

第2回

10月22日(土)
14時～16時

「日本の伝統文化と
現代アートの融合」

幼児教育心理学科教授 三桝 正典

第3回

10月29日(土)
14時～16時

「健康的に年を
重ねるためには」

幼児教育心理学科准教授 田中 沙織

中学・高校

平和を祈る週

(6月13日～6月18日)



土曜日の特別礼拝では、原爆の子の像のモデル、佐々木禎子さんの兄、佐々木雅弘さんよりメッセージをいただきました。

雅弘さんは、4歳の時、爆心地から約1.7kmの自宅で、当時2歳の禎子さんと共に被爆。元気に成長した禎子さんは、10年後の1955年2月、白血病と診断され

8・6 平和記念礼拝



8月6日午後1時30分から、ゲインズホールで、中一、中三、高二の生徒が出席し、多くの来訪者の方々と共に、岡村悦弥先生(日本パプテスト連盟牧師)をお迎えして平和記念礼拝をまもりました。

岡村先生は、16歳の時、動員先の南観音の三菱造船所(爆心地から3km)で被爆しました。その体験について、「ピカッと光り顔を上げた途端、ドンと爆風が来てみんな工場の外へ飛び出した。鉄骨を残して壁や窓ガラスが壊れ降りかかってきた。町のほうを眺めると白

ました。

「家が貧しく、痛み止めの注射も我慢し、秘かに白血球の数値をメモしながらも死の不安を押し隠して、最後まで穏やかに振る舞い続けた。折り鶴には、たった12歳で家族を気遣い、痛みや苦しみに一人で耐え続けた禎子さんの思いやりの心が込められている。禎子が生きたことのできなかった命を、皆さんはもつと大切に

して、周りの人を思いやり、平和をつくる人になって下さい」と語ってくださいました。

午後の有志の質問会では、「アメリカのパール・ハーバーやスミソニアン博物館にもサダコの鶴を展示してもらっている、その鶴を見

て原爆が正しいと思っている人も何かを感じるはず。悲しみは忘れてはいけないが、怒りや憎しみを乗り越えるツールとして、サダコの鶴を贈り続けている」と海外での活動について話されました。

週間中、中学では、礼拝委員会主催の集いで被爆後3年目の長崎を舞台にした「母と暮らせば」を上映、8・6平和祈念式で広島女学院原爆慰霊碑と絵碑に捧げる千羽鶴を作成しました。高校では、宗教委員会主催の昼の集いで金信先生の朗読、カンボジア・ハワイ・ミャンマー・韓国の研修報告、また署名実行委員会による核廃絶署名が行われました。

(宗教教育委員会)

いキノコ雲が立ち上り、黒煙と赤い炎に包まれた。5時ころ帰宅を許可され、血を流し火傷を負った無残な人々の姿を目にしたながら、己斐・横川を通って牛田の自宅をめざした。助けを求め

る声を耳にしながら通り過ぎてしまった。なぜ助けてあげなかったのか、今もその声が残っている」と証言されました。

建物疎開などで、約6000人もの学生生徒が犠牲になりました。戦後、日本もマニラや南京を破壊したと知りました。キリスト教学校である西南学院で出会った宣教師のロジャー先生が「アメリカはひどいことをしました」と涙を流された姿に感激して牧師になりました。「こうしてキリストは、双方をご自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、十字架を



(宗教教育委員会)

中1学年合宿

4月27日(水)～28日(木)に中1の学年合宿が行われました。

初日は、ホールでの開会礼拝で校母ゲーンズ先生についてのお話を聞き、そのあとすぐバスで比治山にある先生のお墓に向かい、クラスごとに「墓前礼拝」をしました。ゲーンズ先生の愛唱歌「讃美歌294番」を歌い、献花をして、今後の女学院生活が豊かになるよう祈りを捧げました。その後、呉市安浦町のグリーンピアせとうちへ移動しました。あいにくの雨で、室内での「同級生インタビュー」となりましたが、天気もものともせず、クラスの仲間とすぐうちつけ、この時間で初めてたくさんのクラスメイトと話した生徒も多かったようです。夕べの集いでは、「誕生日チェーン」などのゲームで親睦を深めた後、照明を落としてキャンドルを灯し、厳かな雰囲気の中で「夕拝」の時をもちました。女学院生活のはじまりと新しい出会いを感謝する機会となりました。

2日目は幸いにも少し雨が上がりました。担任の先生の指揮によるクラス対抗校歌・讃美歌コンクール、ドッジボール大会、パーベキューと、楽しい行事が目白押しで、クラスや先生仲間との個性がよりわかってきた、楽しいひと時でした。たった二日間でしたが、女学院での学校生活の良いスタートとなったようです。

(中1合宿係 演劇)

中2チャレンジキャンプ

今年も芸北の豊かな自然の中で、7年目のチャレンジキャンプを行いました。この行事も回を重ね、高校生リーダーが、中2生徒にとつてとても大きく頼もしいものとなりました。

出発まで雨を心配しましたが、天候にも恵まれ気持ちの良い初日登山となりました。到着直後のテント張りや飯盒炊きさんでは、疲れた体でリーダーを中心に中2も一生懸命取り組みました。前日までの雨で薪が湿っていたのか、なかなか火が付かず苦労していたグループもありました。普段の生活にはない困難に、日頃の生活や家族への感謝を深く感じたのではないのでしょうか。

2日目の恐羅漢登山では、リーダーと励まし合いながら、全グループ無事に山頂に着くことができました。あいにく山頂からの景色は見えませんが、下山後の表情には達成感あふれ、中2にもそしてサポーターしたリーダー達にも自信がついたようでした。夕方に強い通り雨が降って心配しましたが、無事にキャンプファイヤーも行うことができました。美しい火を静かに見つめ、自分自身をしっかり振り返る時間を持つことができました。

(チャレンジキャンプ委員会)

生徒の活躍

マンドリン部

「平成28年度 全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール」

◆優秀賞

◆大阪市長賞

(3年連続優秀賞を受賞した学校)

◆吹田市長賞

(第4位)

中学放送部

「第33回 NHK杯全国大会」朗読部門

◆優良賞

仲澤陽菜(3-2)

中学合唱部

「第55回中国合唱コンクール」

◆銀賞

高校音楽部

「第55回中国合唱コンクール」

◆銅賞

◆2016(平成28)年度メイプル賞受賞

西 優香子、齋藤 優菜(広島大学附属高校1年)

表彰理由

第39回ペティナ・ピアノコンペティション全国大会決勝(2015年8月20日～23日)連弾上級 金賞

「第55回 国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト」

◆国際連合広報センター賞

長坂小如(3-1)

幼稚園

「幼小連携」と これからの幼稚園

子ども・子育て支援新制度がスタートして1年半が経過しました。ゲーンズ幼稚園は、今現在、学校教育法に基づく幼児が主人公の「幼稚園」として歩んでいます。これからもその基本姿勢は変わることはありませんが、「預かり保育」や「未就園児親子広場」「発達支援」「保護者の憩いの場」「小学生の居場所づくり」等の取り組みのさらなる充実を図り、「子育て支援センター」となることができればと願っています。園だけでは担いきれないその構想の鍵を握るのが「幼小連携」であると考えています。「子どもとふれあう実践的学びの場」を学生に提供しつつ、「管理栄養」「心理学」「語学」「デザイン」等の大学の専門性を、教育活動はもちろん、子育てや保護者のキャリア支援ともつなげていくことで、幼大の互恵性が更に深まっていくことに期待しています。この構想「みぎわプロジェクト」を推進していくために、ご支援を賜りたいと130周年を迎え、切に願っています。どうぞよろしく願っています。

(園長 高田憲治)

花の日礼拝



お花がいっぱい、うれしいね

花の日礼拝の朝、子ども達は各家庭で選んだ花を持って登園します。ある子は「先生、どうぞ！」と嬉しそうに、またある子は「ははは、そうに花を渡してくれませう。一人ひとりが特別に咲き誇る花である子どもたちと、毎日を共に過ごさせてもらえる幸せを改めて強く感じる日です。部屋に飾るときれいだね！」「お花がいっぱいで嬉しくなるね！」と笑顔があふれます。「集まり」ではその花々を囲み、子どもの頃のイエス様が虫や花などどんな命も大切にしていた話を聞いたり、神さまから与えられた様々な命について考えたり、自分たちも神様から命を与えられ守られ成長していることに感謝する礼拝の時を持ちました。

(幼稚園 有里 亜友美)

平和の祈り

日々の保育の中で子どもたちは平和をつくり出しながら過ごしています。自由な遊びの中で友だちと考えを出し合ったり協力し、遊びを組み立てています。時に、意見が対立してお互いが譲らずケンカになってしまうこともありますが周りの子どもたちが両者の思いを聞き取って解決策を提案してくれる場面もよく見られます。「ごめんね。」「いいよ。」で仲直りできることもあれば、その時は納得がいかなくても周りの受け入れによって乗り越えられる時もあり、支え合いの中で安心を提供し合っています。

また、クラスでの話し合いの時間に「平和」について考える時を持った際には「優しくすること」「人の心も自分の心も大事にすること」「世界が全体ニコニコ」など、互いの思いを共有しあう機会を持つことができました。そんな毎日を通り、今年の夏も園で、また各家庭で折り鶴を込めて作った折り鶴を原爆の子の像に捧げに行っていました。未来を担う子どもたちが、この心動かされる体験を土台に身近な人々との生活を大切に、そして遠く離れた人々のことにも思いを馳せながら歩んでいくことができ、すようにと心から願っています。(幼稚園 古重 歌織)



折り鶴を捧げ禎子さんの思いをつなぐ



原爆ドームを前に、戦争の傷跡を直視する子どもたち

夏祭り

8月下旬、幼稚園で夏祭りを行いました。毎年、在園児、保護者は勿論、未就園児、卒園生、地域の方々、そして転園した子どもたちも帰って来てくれて、たくさんの人たちで賑わうお祭りです。焼きそばやカレー、綿菓子やかき氷などの出店。ゲームコーナー、お化け屋敷もあります。また、ホールでの『夏祭りステージ』は、早稲田ふれあい太鼓の皆様の演奏や卒園生の子どもたちによるステージで大いに盛り上がりました。

保護者、卒園生、学生ボランティア、たくさんの方々のお支えの中で、夏の終わりのひと時を楽しく過ごすことができました。

(幼稚園 梅田 桃香)



校 勢 概 要 (2016.5.1現在)

◇専任職員数

種 別	性 別	大 学			中 高			幼 稚 園	法 人	計
		国 際	人 間	計	中 学	高 校	計			
教員計	男	18	12	30	14	16	30	1	0	61
	女	11	19	30	19	16	35	10	0	75
	計	29	31	60	33	32	65	11	0	136
職員計	男	15		15	1	1	2	0	3	20
	女	47		47	2	2	4	0	3	54
	計	62		62	3	3	6	0	6	74

◇2016年度学生・生徒・園児在籍数()内は内数で休学留学者数を表す。

校部科	学年	1	2	3	4	小計	計
		1	2	3	4		
言語文化研究科 博士後期課程	日本語文化専攻	1	0	0		1	1
	英米言語文化専攻	0	0	0		0	
言語文化研究科 博士前期課程	日本語文化専攻	4	5			9	12
	英米言語文化専攻	0	3			3	
人間生活学 研究科修士課程	生活文化学専攻	0	2			2	7
	生活科学専攻	1	4			5	
大学国際教養学 学部	国際教養学科 (GSE)	110	127	154	146	537	537
大学人間生活学 学部	生活デザイン・ 建築学科	56	54	40	68	218	218
	管理栄養学科	80	78	63	79	300	300
	幼児教育心理学科	82	81	89	94	346	346
大学文学部	日本語日文学科				6	6	9
	英米言語文化学科				2	2	
	幼児教育心理学科				1	1	
大生活科学部	生活デザイン・ 情報学科				1	1	1
高等学校		221(1)	224	220			665(1)
中学校		206	251	200			657
幼稚園	3年保育	65					219
	2年保育	81					
	1年保育	73					
計		826(1)	910	839	397		2,972(1)

◇財産目録

一、基本財産	9,394,253,162円	中学校建物	7,895.59㎡ 657,369,160円
1. 土地	230,939.85㎡ 1,138,197,688円	幼稚園建物	1,560.66㎡ 177,072,174円
大学校地	202,472.33㎡ 581,008,581円	法人建物	808.72㎡ 50,234,156円
高等学校校地	10,716.12㎡ 336,684,120円	3. 構 築 物	227点 211,724,120円
中学校校地	13,002.00㎡ 195,030,000円	4. 教 具 ・ 校 具 ・ 備 品	21,163点 406,505,900円
中高寄宿舎跡地	852.89㎡ 8,528,900円	5. 図 書	195,715冊 1,299,908,815円
幼稚園校地	3,328.25㎡ 3,507,070円	6. 車 両	7台 3,537,659円
校外土地	568.26㎡ 13,439,017円	二、運用財産	2,109,015,858円
2. 建 物	60,850.00㎡ 6,334,378,980円	三、負債	3,349,379,367円
大学建物	39,491.48㎡ 3,888,169,172円	四、正味財産	8,153,889,653円
高等学校建物	11,093.55㎡ 1,566,534,318円		

◇2015年度財務三表

◇資金収支計算書

(単位 円)

科 目	金 額
収入の部	
学 生 生 徒 等 納 付 金 取 入	2,462,152,609
手 数 料 取 入	44,409,655
寄 付 金 取 入	6,170,000
補 助 金 取 入	610,815,305
付 随 事 業 ・ 収 益 事 業 取 入	29,494,820
受 取 利 息 ・ 配 当 金 取 入	2,419,905
雑 収 入	65,862,189
前 受 金 取 入	345,042,000
そ の 他 の 収 入	220,238,175
資 金 取 入 調 整 勘 定 金	△423,786,551
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	990,370,834
収 入 の 部 合 計	4,353,188,941
支出の部	
人 件 費	2,144,972,810
教 育 研 究 経 費 支 出	532,517,350
管 理 経 費 支 出	223,123,821
借 入 金 等 利 息 支 出	34,936,979
借 入 金 等 返 済 支 出	206,380,000
施 設 関 係 支 出	56,868,480
設 備 関 係 支 出	30,186,649
資 産 運 用 支 出	834,000
そ の 他 の 支 出	154,184,877
資 金 支 出 調 整 勘 定 金	△37,732,075
翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	1,006,916,050
支 出 の 部 合 計	4,353,188,941
支 払 資 金 の 増 減 額	16,545,216

◇事業活動収支計算書

(単位 円)

科 目	金 額
収入の部	
学 生 生 徒 等 納 付 金	2,462,152,609
手 数 料 金	44,409,655
寄 付 金	7,028,271
経 常 費 等 補 助 金	602,400,305
付 随 事 業 収 入	29,494,820
雑 収 入	66,814,558
教 育 活 動 収 入 計	3,212,300,218
教 育 活 動 外 収 入	2,419,905
特 別 収 入	11,028,549
収 入 の 部 合 計	3,225,748,672
支出の部	
人 件 費	2,148,634,495
教 育 研 究 経 費	987,226,000
管 理 経 費	233,158,498
徴 収 不 能 額 等	524,684
教 育 活 動 支 出 計	3,369,543,677
教 育 活 動 外 支 出	34,936,979
特 別 支 出	481,603
支 出 の 部 合 計	3,404,962,259
基本金組入前当年度収支差額	△179,213,587
基本金組入額合計	△278,608,319
当年度収支差額	△457,821,906
前年度繰越収支差額	△8,795,844,674
翌年度繰越収支差額	△9,253,666,580

◇貸借対照表

(単位 円)

科 目	金 額
固 定 資 産	10,405,060,457
有 形 固 定 資 産	9,394,253,162
そ の 他 の 固 定 資 産	1,010,807,295
流 動 資 産	1,098,208,563
資 産 の 部 合 計	11,503,269,020
固 定 負 債	2,664,081,094
流 動 負 債	685,298,273
負 債 の 部 合 計	3,349,379,367
純資産	8,153,889,653
基 本 金	17,407,556,233
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	△9,253,666,580
純 資 産 の 部 合 計	8,153,889,653
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	11,503,269,020

ご不明な点がございましたら、法人事務局財務課へお問い合わせください。

事務局

会議報告

第142回理事会

2016年4月26日14時から開催。

審議事項として、教育振興基金等各種基金の2015年度決算報告、及び2016年度事業予算について、基金の目的の再点検・整理の必要性について指摘があり、検討することとした上で承認した。

次に、2015年度内部監査実施状況報告と合わせて2016年度内部監査計画の説明があり、承認した。

報告事項として、各校区からの学事報告、大学改組の検討状況、及び改組案の説明、2015年度監事監査の説明、及び監査状況報告、並びに2016年度監事監査計画の説明があった。

5月定期評議員会

2016年5月24日10時から開催。

選任事項として、ご息女卒業に伴い退任された山下評議員の後任として宮下成氏を選任した。任期は、本日から3年間。

次に、2016年5月末で任期満了となる高橋監事の再任について同意した。任期は、6月1日から2年間。

諮問事項として、2015年度事業報告案及び決算案について、2018年度からの次期中期計画の策定体制や着手時期についての要

望や補正予算と決算の大幅かい離の原因究明等についてのやり取りの後、承認した。

報告事項として、各校区からの学事報告、監事監査報告及び本年度監査項目、大学の将来計画についての説明があった。

第143回理事会

2016年5月24日14時から開催。

選任事項として、中高事務長に石田直子大学庶務課長兼総合研究所事務課長を選任(6月1日付け)した。

審議事項として、2015年度事業報告案について、質疑応答の後、承認した。

次に、2015年度決算案について、監査報告に続いて、予算額とのかい離の理由を明記するように等の意見が出された後、承認した。

報告事項として、各校区からの学事報告の後、高橋監事を任期満了に伴い再任することの報告があった。

次に、人事について、大学国際教養学部専任講師として、磯部祐実子氏を9月20日から採用すること、及び事務職員6月1日付け人事異動について報告があった。

次に、管理者候補選考委員選出要領を制定した旨報告があった。

第144回理事会

2016年6月28日14時から開催。

報告事項として、各校区

からの学事報告、6月末で退職する事務職員への退職金の支給、広島女学院大学名誉教授称号授与規程の改正について報告があった。

協議事項として、大学改組の方向性、入学定員、学部名称等について意見交換し、続いて、創立130周年募金、日本私立学校振興・共済事業団による経営相談等について意見交換した。

第145回理事会

2016年7月26日14時から開催。

審議事項として、ウェブ出願に伴う入学検定料の引上げのための中高校則変更を承認した。

次に、大学改組に伴う新学部・学科構成と教員人事について、質疑応答の後承認した。

報告事項として、各校区からの学事報告、財務状況の説明、創立130周年記念行事開催の報告があった。

第146回理事会

2016年9月27日14時から開催。

審議事項として、大学改組の最終案を、2学部・5学科、入学定員330名とする事について、質疑応答の後、承認した。

次に、法人事務局長を財務理事とすること、及び依頼退職する常勤嘱託職員への慰労金の支給を承認した。

報告事項として、各校区からの学事報告、管理者候補選考委員選出要領の改

正、中高教員への退職金の支給、大学実験実習担当職員採用、創立130周年記念募金などについて報告があった。

The 32th Messiah 2016 12.23

今年度も広島女学院クリスマスコンサート『メサイア』を開催いたします。ご家族お誘い合わせでご来場ください。

日時	2016年12月23日(金・祝) 開場 17:00 / 開演 17:30
会場	中学・高等学校ゲーンズホール
お問い合わせ	法人事務局 総務課 TEL 082-228-0380

同窓会からのお知らせ

同窓会バザー

日時:2016年11月3日(祝) 10:00~13:00
場所:ゲーンズホール前 テント(バザー) 同窓会館(カフェ・アイリス)

バザーのための献品を常時受け付けております。

クワイアOG会

故片柳 寛先生追悼記念会

日時:2017年1月21日(土) 14:00~
場所:広島女学院大学 ゲーンズチャペル 広島市東区牛田東4-13-1 どなたでもご自由にご出席ください

お問い合わせ

同窓会事務局

TEL・FAX 082-221-1059

永遠の「あやめ」ゲーンズの娘たちよ

片柳 寛先生(元院長・学長)ご召天

元院長・学長 片柳寛先生が7月27日享年91歳でご召天されました。片柳先生は1957年4月より広島女学院助手、講師を経て、1963年4月総理府科学技術庁振興局国際課課長補佐に就任、1967年10月に退職し、11月より助教授として復職、1972年広島女学院大学教授就任の後、文学部長、副学長を歴任され、1986年に広島女学院大学学長に就任、翌年1987年から広島女学院院長を兼任し1990年3月定年退職まで英文学の教育・研究に努め、1990年4月広島女学院大学名誉教授になられました。2008年には瑞宝中綬章を受章されました。



英文学の教育・研究においては、英語を外国語とする non-native 者への教授法の研究、実践に貢献。1981年よりオハイオ州ウィルミントン大学、1983年よりカリフォルニア州パシフィック大学への初の海外夏期研修を実施して、女子大生を留学させる礎を築られました。なお、言語教育充実のためご寄附いただいた3,500,000円により「片柳寛記念基金」が設けられ、女学院の発展にご尽力いただいています。心から哀悼の意を表します。

広瀬ハマコ記念基金のご案内

広瀬ハマコ先生は、校母N・B・ゲーンズ先生から直接薫陶を受けられました。その期待に応えられ、園長、学長、院長、理事長として36年間に渡り、本学院発展のために尽瘁されました。1988年にご召天。その後、私財は全額先生ご遺言により本学院に寄附され、「広瀬ハマコ記念奨学基金」の制度がうまれました。

●応募条件:本学(高校、大学)卒業生で国内外の大学院在学者
●選考:本人申請により3月・9月に基金運営委員会を行います。詳細お問い合わせは、法人事務局総務課へ
☎082-228-10380 (院長 湊晶子)

昇任・昇格

2016.6.1付(順不同)

Table with 3 columns: Name, New Position, Old Position. Includes names like 石田直子, 佐藤木綿子, etc.

配置転換

2016.6.1付(順不同)

Table with 3 columns: Name, New Position, Old Position. Includes names like 松田俊治, 榎良平, etc.

兼務発令

2016.6.1付(順不同)

Table with 3 columns: Name, New Position, Old Position. Includes names like 小橋牧子, 宇根治, etc.

生活デザイン・建築学科のために

Table with 2 columns: Item Name, Amount. Includes items like 2015年度生活デザイン・建築学科卒業生一同様, etc.

日誌

4.1(金) 新任式・オリエンテーション 大学院・大学入学式

編集後記

創立130周年記念の喜びと共に今年も牛田校地は赤や黄色に美しく色づいてきました。

- 大学協力会 会長 谷川京子 副会長 森九郎 理事 德丸千夏 向井英佳 橋本和代 中島久美 長田ひかり 梶山照子 新理事 桐川建賛 波多野五三 山下京子 澤村雅史 中高PTA 会長 福山正明 副会長 島田青坪 田中慎也 深田洋介 頂度世 中山玲子 松井貴介 宮下正和 松本一成 濱田宏之 顧問 西本と改姓

- 幼稚園みぎわ会 会長 佐能幸恵 副会長 米川美穂 会計 八百城寿子 書記 伊藤典子 長崎裕美子 大宅由美 船場寿美 近藤理恵 福井香緒里 塩田恭子 植田ひとみ 小原陽子 南原祥子 松藤貞子 瀨良薫 坂田真理子 長井乃湖

- 吉岡千紘(幼稚園教諭) 矢原と改姓 田畑あゆみ(中高教諭) 桂と改姓 明里ちやん(皆本陽子中高教諭ご長女) ソフィア・千鳥ちゃん(フイッシャー・ジョンナサン中高助教諭ご長女) 濱重富江様(崎家静大学キャリアセンター事務課職員ご母室) 和田みどり様(名誉教授) 片柳寛様(元院長・大学長) 2016.7.27 2016.4.20 2016.3.30 2016.5.19

- 理事長選任 監事 高橋義則(2016.6.1/2018.5.31) 就任 法人事務局財務課長兼 加藤佳輝(2016.6.16付) Steven Leaper 谷尻誠(2016.4.1/2017.3.31) 出口汪 加川貴美子(2016.8.31付) 2016.6.30付 2016.6.30付 2016.8.31付

- 生活デザイン・建築学科のために 2015年度生活デザイン・建築学科卒業生一同様 50,000円 ゲインズ奨学金として 50,000円 広島女学院同窓会様 800,000円 みぎわプロジェクト ゲインズ幼稚園みぎわ会様 200,000円 ゲインズ幼稚園有志様 200,000円 創立130周年 綴帳修復のために 300,000円 広島女学院同窓会 300,000円 広島女学院同窓会佐伯地区様 300,000円 広島女学院同窓会呉地区様 300,000円 星野晴夫様 工藤敬子様 前 瑛子様 200,000円 広島女学院同窓会賀茂地区様 200,000円 広島女学院同窓会東北地区様 200,000円 広島女学院同窓会山口支部様 200,000円 被爆アライオン使用御礼 一般財団法人米子市文化財団様 40,000円 ガウン・帽子保管料補助 40,000円 広島女学院大学協会のため 276,156円 アイリスセンター維持費 600,000円 現物寄附 寺本道生様 図書広島電鉄開業100年！ 創立70年史 関谷弘毅様 ビデオカメラHDR-1PJ675 (1)ボルドーブラウン・ビデオカメラHDR-1PJ675(W) ホワイト 渡部佳美様 ノートPC、ビデオカメラ 田中沙織様 カシオデジタルカメラ、キヤノン デジタールカメラ、キヤノン レザープリンター、カシオ電子辞書

- 4.7(木) 中学校入学礼拝 4.7(木) 高等学校入学礼拝 4.11(月) 幼稚園入園礼拝 4.14(木) 事務協議会 4.26(火) 理事会 4.8(金)、4.18(木)、4.25(月) 公認会計士監査 5.12(木) 事務協議会 5.12(木) 経営会議 5.14(土) 中高体育大会 5.21(土) 評議員会 5.24(火) 理事会 5.9(月) 5.12(木)、5.16(月) 5.18(水)、5.20(金)、5.25(水)、5.27(金) 公認会計士監査 5.28(土) 大学協会の総会 6.2(土) 経営会議 6.9(木) 事務協議会 6.16(木) 学院運営協議会 6.28(火) 理事会 7.7(木) 経営会議 7.14(木) 学院運営協議会 7.14(木) 学院運営協議会 7.21(木) 学院人権問題委員会 8.26(火) 理事会 9.1(木) 被爆71年平和祈念式 9.8(木) 経営会議 9.15(木) 事務協議会 9.15(金) 入園説明会 9.20(火) 入園説明会 9.21(水) 入園説明会 9.24(土) 広島女学院創立 130周年記念講演とオルガンコンサート 10.1(土) 創立記念日 公認会計士監査

創立130周年記念の喜びと共に今年も牛田校地は赤や黄色に美しく色づいてきました。変わらぬ美しさ同様、これからも広島女学院が多岐にわたることに愛されましよう、祈りと共に心新たに努めてまいりたいと思います。(幼稚園 久保木裕子)

2017年度 学生生徒 園児募集要項



大 学

(〒732-0063) 広島市東区牛田東四丁目13-1
電話 082-228-0386(代) FAX 082-228-7815

中 学 校

(〒730-0014) 広島市中区上鞆町11-32
電話 082-228-4131 FAX 082-227-5376

募集人員 国際教養学部 国際教養学科 240名
(英語系(GSE)/国語系/社会系/ビジネス・情報系)
GSE…Global Studies in English
人間生活学部 生活デザイン・建築学科 70名
管理栄養学科 70名
幼児教育心理学科 90名

入試概要 (2016年11月実施以降)

入試区分	対象学科	出願期間		試験日	合格発表日	試験会場
		インターネット 出願期間	出願書類提出 締切			
指定校制推薦入試	全学部全学科	2016年10月24日(月) ～11月7日(月)★		2016年 11月12日(土)	2016年 11月18日(金)	本学
公募制推薦入試 A・B方式(専願) C方式(併願) 特許方式 (専願・幼児教育 心理学科のみ)	全学部全学科 (ただし、幼児 教育心理学科 「特許方式」は 第1回のみ実施)	第1回 2016年10月24日(月) ～11月8日(火)★	ホ ー ム ペ ー ジ 参 照	第1回 2016年 11月13日(日)	第1回 2016年 11月18日(金)	第1回 本学・福山・ 周南・松江・ 松山 (ただし、 方式による)
		第2回 2016年11月24日(木) ～12月6日(火)★		第2回 2016年 12月10日(土)	第2回 2016年 12月16日(金)	第2回 本学
特待生入試	全学部全学科	2017年1月5日(木) ～1月20日(金)★		2017年 1月30日(月)	2017年 2月11日(土)	↓一般前期 A日程と同じ
一般入試 前期日程 A日程 B日程 C日程	全学部全学科	2017年1月5日(木) ～1月20日(金)★	ホ ー ム ペ ー ジ 参 照	A日程 2017年 1月30日(月)	2017年 2月11日(土)	A日程 本学・福山・ 周南・岡山・ 松江・那覇 B日程 本学・福山・ 周南 C日程 本学
				B日程 2017年 1月31日(火)		
				C日程 2017年 2月2日(木)		
一般入試 後期日程	全学部全学科	2017年2月16日(木) ～2月28日(火)★		2017年 3月6日(月)	2017年 3月10日(金)	本学
※ 大学入試 センター試験 利用入試 A日程	全学部全学科	2017年1月5日(木) ～1月27日(金)★		2017年 1月14・15日 (土・日)	2017年 2月11日(土)	—
大学入試 センター試験 利用入試 B日程	全学部全学科	2017年2月16日(木) ～2月28日(火)★		2017年 大学入試セ ンター試験 (本学独自の 試験はあり ません。)	2017年 3月10日(金)	—
大学入試 センター試験 利用入試 C日程	全学部全学科	2017年3月13日(月) ～3月21日(火)★		2017年 3月23日(木)	2017年 3月23日(木)	—

★インターネット出願登録は、最終日午前11:00まで。
・全入試インターネット出願となります。(特別入試、編・転入試など一部異なります。)
・試験科目など詳細は、入試ガイドまたはホームページにてご確認ください。
・指定校制推薦入試に関しては、在学されている高等学校へお問い合わせください。
・社会人・帰国生徒・外国人留学生特別入試および転入試、編入試も実施します。
※大学入試センター試験利用入試 A日程では、成績優秀者に授業料優遇制度があります。
(授業料20%減免)



キリスト教精神に基づいた教育を目指して



募集人員 約200名(5学級)
応募資格 2017年3月小学校卒業見込みの女子
出願時、広島県および山口県東部在住の者。これ以外の地域から出願される場合は、他の手続あり。詳細は「2017年度生徒募集要項」を参照のこと。
出願期間 2016年12月15日(木)より2017年1月6日(金)
出願方法 本校HPより出願の手続きを行い、期日までに必要書類を郵送のこと。
試験期日 2017年1月21日(土)
選考の方法 (1)学科試験 (2)提出書類の審査 (3)面接による審査
合格発表 2017年1月22日(日)
募集要項請求 本校受付で配布。郵送希望の場合、事務室にご請求ください。

ゲインズ幼稚園

(〒732-0063) 広島市東区牛田東四丁目13-1
電話 082-228-6635 FAX 082-224-3141

募集人員 3歳児 65名 4歳児 若干名
願書受付 2016年10月3日(月)
入園面接 2016年10月19日(水)
入園手続 2016年10月24日(月)



大 学 院

言語文化研究科<博士前・後期課程>
人間生活学研究科<修士課程>

募集人員 (男女共学) (社会人・外国人留学生可)

研究科	専攻	博士前期、修士課程	博士後期課程
言語文化	日本語文化	6名(秋季を含む)	3名
	英米言語文化	6名(秋季を含む)	3名
人間生活学	生活文化学	6名(秋季を含む)	
	生活科学	6名(秋季を含む)	

春季入試日程

出願期日 2017年2月17日(金)～2月24日(金) 郵送必着
試験期日 2017年3月3日(金) 合格発表 2017年3月10日(金)

【資料請求】 広島女学院大学 入試課 電話:082-228-8365(直)
URL: <http://www.hju.ac.jp/> E-mail: nyushi@gaineshju.ac.jp